

健康讃歌

by 岡山旭東病院



岡山旭東病院
マスコットキャラクター
「モモコ」

それぞれのプロが、専門技術を生かして
脳・神経・運動器疾患の急性期医療を支える。

「現代の急性期医療に携わる医療従事者は、気持ちの若さだけではなく、絶対的な若さが必要」と言い切るのは溝淵雅之救急室長。瞬時の判断と処置が高いレベルで要求される救急医療現場の実情を伺わせる言葉だ。そうした状況に対応すべく岡山旭東病院では二〇一〇年、院内に「救急委員会」を設置。現在、医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師、事務からなる一六人のスタッフが救急に関する多くの問題に対処している。田中礼一郎副室長は「突然の病気やケガの場合、ご本人はもちろん、ご家族の不安や心配は計り知れません。専門病院ならではの緊急時のマニュアルやガイドラインを作成、訓練することで迅速かつ的確な対応を目指しています。救急医療は時間が勝負です。全職員が速やかに対応できるようチームとしての技術の向上に努めています」。

続けて、救急看護認定看護師の資格を持つ石田恵子看護師は「救急車からの連絡を受けて、スタッフの配置や受け入れの采配を担当しています。気をつけているのは、決して患者さまの状態を過小評価しないこと。万全の受け入れ体制で臨んでいます」。二〇一四年四月から当院勤務となった橋本宏幸救急救命士は、以前消防署で救急隊長として勤務していた。当院に転籍した思いをこう語る。「救急救命士になって十二年。医療現場の近くで自分のスキルを生かしたいと思いました。当院は救急救命士の存在価値を理解してくれています。手術室での気管挿管研修も

受けました。また、心肺蘇生訓練の指導や救急車での患者さまの移送など、自分の技術や知識を生かすことでスタッフや患者さまにフィードバックできたらと思います」。最後に溝淵室長「救急医療という特性上、最良のスタッフ、医療を提供しても残念ながら満足な結果を得られない場合もあります。加えて救急医療は細分化が進み、状態によっては当院からほかの適切な病院へ転送することもあります。そういった意味で現代の救急医療は地域によるチーム医療。ほかの病院とも連携を密にしながら救急医療の質向上に貢献したいと思っています」。



日本救急医学会指導医 救急救命士 救急看護認定看護師 脳神経外科専門医
外科専門医 橋本宏幸 石田恵子 救急科専門医
外傷専門医 田中礼一郎 溝淵雅之

◆お問合せ／岡山旭東病院 ☎〇八六・二七六・三三三二
<http://www.kyokuto.or.jp>

バッチ・アダムスホール
(院内1階多目的ホール)
イベント案内

もも脳ネット県民フォーラム

入場無料／事前申込不要

あなたと家族が寝たきりにならないために

平成27年 1/24 13:00~15:30(受付12:00~) 岡山市民会館 岡山市民会館 岡山北区丸の内2-1-1

もも脳ネット 検索

〈講演1〉脳卒中を知り予防しよう

〈講演2〉回復期リハビリテーションをご存じですか?

♪ リフレッシュ体操 ♪ クイズでがっせん!

情報提供ブース 摂食・嚥下ブース 歯科ブース

「脳卒中と骨折について知ろう!」をサブテーマに、もも脳ネット県民フォーラムが上記期日に開催されます。当日は当院の医師も講演者として参加、最新の医療情報をご紹介します。事前申込みは不要ですので、ご家族、ご夫婦でお気軽にご参加ください。お待ちしております。

1月

◆第54回 転倒予防健康教室 1/20(火) 14時~15時

◆病院見学ツアー(癒しのコース) 1/23(金) 13時~15時半

◆アイリッシュコンサート 1/29(木) 11時~12時

◆第46回 園芸教室 2/14(土) 14時半~16時

◆第55回 転倒予防健康教室 2/17(火) 14時~15時

◆揚雪 二胡コンサート 2/20(金) 14時~14時45分

◆病院見学ツアー(診療コース) 2/27(金) 13時~15時半

※どなたでもご参加いただけます。コンサート以外は事前にお申込みをお願いします。お申込みは 企画広報室 ☎086-276-3231

2月